

子育てに優しい社会へ

秋のこどもまんなか月間街頭キャンペーンを実施



啓発物品を手渡す参加者

11月の「秋のこどもまんなか月間」に合わせ、本厚木駅周辺で、市や青少年関係団体、ジュニアリーダーなど約40人が子ども・子育てに優しい社会づくりを呼び掛けました。

参加者たちは本厚木駅北・南口に分かれ、「まちぐるみで、こどもや子育てを応援しよう!」などと書かれたボールペンとティッシュの啓発物品1000セットを通行人に手渡しました。

活動に参加した青少年指導員連絡協議会の川田房江会長（68・飯山）は「子どもが伸び伸びと育つためには、周りの理解が欠かせない。活動を見た人が身近な子どもたちの様子を思い浮かべてくれたらうれしい」と話してました。

スポーツの聖地づくりのスタートに

市内で日本ハンドボールリーグ女子の公式戦を初開催

日本ハンドボールリーグ女子の公式戦が10月、市内で初めて開催された。市内に所属企業のグループ会社があるチーム「BLUE SAKUYA」が荻野運動公園で開幕戦に臨み、勝利しました。試合前日に市役所を訪れた北原佑美主将は「VAMOS・頂の先へ」をチームスローガンに練習してきた。昨シーズンは2位と悔しい思いをしたので、日本一を目指して頑張りたい」と話しました。山口市長は「市で開幕戦を迎えられてうれしい。スポーツの聖地づくりのスタートとなる試合を、市を挙げて応援する」とエールを送りました。



右から2番目が北原主将



人も動物も幸せに

動物フェスティバル神奈川inあつぎを開催

動物愛護・福祉や適正飼養への理解を深めてもらおうと厚木中央公園などで動物フェスティバルが開催されました。今年は「人も動物も幸せに」をテーマに10年ぶりに市内で実施されました。公園では盲導犬との触れ合いやデモンストレーション、保護犬・猫の譲渡会、動物愛護・福祉に関する展示、動物をモチーフにしたアクセサリーの販売などのブースが出演。厚木商工会議所では、犬猫の長寿表彰などの式典、ペット防災や人と動物との暮らしを学べる講座が開かれました。



盲導犬が椅子まで導くと会場から拍手が起こった

荻野運動公園を発着点に健脚を競う「あつぎマラソン」を10月に開催しました。市内外から974人が参加し、秋の厚木路を駆け抜けました。

厚木の秋の風物詩

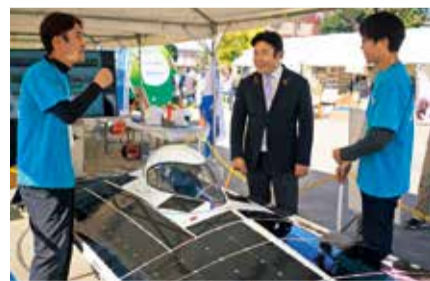
あつぎマラソンに974人が出走

は、スポーツの秋に合わせて毎年開催。ゲストラナーとして箱根駅伝5区の山登りで活躍した柏原竜二さんが参加しました。選手たちは各部門に分かれ、開始を告げる号砲で一斉にスタート。沿道には多くの観覧者が集まり、選手たちに拍手と声援を送られました。男子・29歳以下の部で優勝した浅岡祐希さん（27）は「自分のペースを乱さず最後まで走れたと思う。優勝できたことはうれしいが、記録の更新ができなかったのは悔しい」と話しました。



勢いよくスタートする選手たち

皆さんは、未来の地球環境を守るために、普段何に取り組んでいますか。すぐには目に見える成果を実感しにくく、環境問題を自分ごととして捉えるのは、簡単なことではありません。10月下旬、「あつぎ環境フェア」を開催しました。厚木中央公園を会場に、市民団体や企業、大学の皆さんが35のブースを出展してくださいました。会場を回ると、ソーラーカーや電気自動車をはじめ、太陽光を



出展された神奈川工科大学のソーラーカー

50年までに二酸化炭素の排出実質ゼロ「カーボンニュートラル」実現に向けたロードマップを作りました。次年度からは、公共施設に太陽光発電システムや蓄電池などを導入していきます。実現には、ごみの分別や省エネ家電の選択など小さな積み重ねも欠かせません。私もエコバッグの使用や小まめな消灯をこれからも続けていきます。みんなでできることに取り組み、美しい環境を未来につないでいきましょう。

第9回 みんなで目指そう カarbonニュートラル

カーボンニュートラル（CN）とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

今月の挑戦 プラスチックを正しく分別しよう！



「プラ」マークが付いている物はリサイクルへ

CNでのごみ焼却によるCO₂排出量は、石油からできたプラスチックを燃やした量で算定されます。そのため、CN実現にはもえるごみになりやすいプラスチック製容器包装の分別の徹底や、身の回りのプラスチック製品を増やさない工夫が必要です。

身近にできることから取り組んでみませんか。

CNプラットフォームでは、CO₂排出量の算定方法や効果的なごみの分別を詳しく知れるページを公開しています。

